

学校だより



# はと広場

教育目標 進んで学び 高め合う 北小の子  
あかるく なかよく すこやかに

7月号 令和8年6月30日 NO.4

さいたま市立北浦和小学校

〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和2丁目18-3

電話 048-831-2463 FAX048-835-1352

【児童数】 802名 【学級数】 29学級

## 思いやりのある言葉づかいを心がける ～<sup>あいご</sup>愛語～ 校長 引間陽子

梅雨の季節に台風が次々と発生する今年は、温暖化の気候変動を益々感じ、刻々と変わる天気予報に一喜一憂するところです。安全に学校生活を送るために基準に則ってしっかりと正しい判断を求められる瞬間だと強く感じます。

6月9日には、第6学年の親善バスケット大会が上木崎小を会場に、上木崎小、針ヶ谷小と北浦和小の3校合同により盛大に開催され、どの試合もプレーや応援で活気に溢れ、本校の子どもたちの活躍の姿も大変光りました。15日には、わかば学級の子どもたちがサツマイモ「紅赤」の苗を花壇に植え付けました。このサツマイモは北浦和発祥の種類だそうです。子どもたちが体験学習を通して、栽培や収穫の楽しみを味わえることを願っています。また、16日には、第1学年で、よい本を読む会による緑陰読書会が実施され、1年生に絵本の読み聞かせや魅力的な本の貸し出しをしていただきました。

さて、今月のいじめ撲滅強化月間を通してこの取組は重要だと感じるとともに、年々、子どもたちを取り巻く時代の変化による難しさも感じます。やはり、子どもたちの笑顔を見ると嬉しくなりますが、一方で、子どもたちが友達との関係性に悩んだり、困っていたりすると、少しでも早く解決できるよう、あの手この手で対応をしていきます。子どもたちの心と向き合い、本気でその困りごとを解決へ導けるよう、一緒に考え、懸命に努力します。しかしながら、なかなか人間関係の修復に難儀することもあります。改めて、温かい関係づくりは大事であり、子どもたちが安心して過ごせるための信頼のおける環境づくりの基盤となると感じます。学校が心の通う場でありたいと考えます。

杣野 俊明氏の著書『おだやかに、シンプルに生きる』から次の言葉「愛語」を伝えます。

人と人との関係の基本になるもの。それはやはり言葉ではないでしょうか。自分の考え方を伝えるのも言葉。相手の心を知るのも言葉。言葉のやりとりによって私たちは、互いの絆をつくっているのです。(中略)「愛語」というのは、道元禅師の『正法眼蔵』の中に出てくる言葉です。「触れ合うひとたちに思いやりの心をもって接しなさい。相手の気持ちを思い、優しい言葉をかけなさい」と道元禅師は説いています。(中略)怒りの感情が湧きあがってくることもあります。相手の言葉にカッとすることもあつてしょう。それは仕方のないことです。それでも、ほんの少しだけ言葉の刃を丸くすることはできるはず。相手に言い返そうとしたそのとき、一瞬でもいいですから「愛語」という言葉を心に思ってください。その一瞬の時間のなかで、言葉の刃は少し丸くなるものです。

1学期も残り17日となりました。お陰様で1学期の教育活動を円滑に進めることができました。保護者の皆様、地域の皆様の御理解、御協力に感謝いたします。ありがとうございました。



6月16日 よい本を読む会 緑陰読書会



6月15日 サツマイモ「紅赤」苗植え付け



すくすく育っています。